



2021-22年度 会長 野地俊行
副会長 糸川佳男
幹事 森本健一
会報委員 庄司 幸

第2304回例会 令和4年6月23日

行事：最終例会

ソング：手に手つないで

第2303回例会 令和4年6月9日の記録

会長の時間 野地俊行 会長



皆さんこんばんわ。今日も例会に出席して頂き有難うございます。今日はガバナー補佐の平井様、次期ガバナー補佐の地主様がお見えになっています。後程、平井様には卓話を、地主様には自己紹介を含めた挨拶をお願いします。さて、今日の私の時間は、皆さんご存知の京セラ、KDDIの創業者でJALの再建にもかかわった稲盛和夫さんの経営哲学の本を読んで、私なりに理解したことについて話をしたいと思います。まず、最初に「人間は思っている通りの人生を送る」これは世の中の哲学者、思想家が言っていることです。つまり、ネガティブなことを考えている人はネガティブな人生、ポジティブなことを考えている人はポジティブな人生を送ると言うことです。何が良いとか悪いとかではなく、人間はそういう人生を送ると言うことです。では稲盛さんは、どう考えているのか？ 人生の方程式＝「考え方」×「熱意」×「能力」でこれら3つの要素の掛け算の値を最大化することが良い人生ではないかと言っております。点数で表現すると、「考え方」には良い考え方と悪い考え方があるので、±100、「熱意」と「能力」はマイナス



がありませんので、0から100とするとプラスの値が最大になることが、良い人生になります。具体的にお話をすると、「能力」は生まれながらにして持っていることが多分にあります。例えば、80点の能力を持っている人でも熱意が0の場合、合計は0、しかし、能力が20点でも熱意が80点の人は160点になります。つまり、何かをしようとする場合、能力ではなくて、熱意の方が大事だと言っています。次に「考え方」ですが良い考え方の基準は、「人間として何が正しいか」です。人間として正しいことは、色々ありますが、基本的には、倫理観、道徳観のことです。この考え方は、ロータリーでも同じです。では、ロータリーの心とは、先週話した奉仕の理想の「思いやり、助け合い」つまりは、仏教的に言えば、利他の心です。では、倫理観・道徳観と利他とはどのような関係にあるのでしょうか？ 仏教では人間の心には、自利と利他の2つがあり、利他は、人間が生まれた時に持っている心、自利は、人間が生まれてから身につける心です。そして、倫理観・道徳観を持ち行動すると自利を無くなるということ。私は、物事の本質を求め続けると、出発点は違っても、一つの同じことに集束するのではないかと考えています。次に、稲盛さんは、

色々なことを言われていますが、その中の一つを紹介します。それは、「もう駄目だと思った時が仕事の始まり」でこの言葉は、私に「無一物中無尽蔵」という言葉を思い出させてくれました。「無一物中無尽蔵」の意味は、「無一物」は人間の心が何もないと思うこと、「無尽蔵」は色々なものがある現実の世界。「もう駄目だと思った時」が「無一物」、「仕

事の始まり」が現実の世界である「無尽蔵」の中で解を探す行動を始めること。これは、商品開発をする時とか、環境変化で会社が思わしくなった時の心の持ちようについて言っている言葉だと思います。今日は、稲盛さんの本を読んで私が理解したことについて、話をしてみました。

幹事報告 森本健一 幹事

▼津南、伊勢南ロータリークラブより例会変更のお知らせが届いております。

▼地区大会事務所より分担金 2,500 円×32 名=80,000 円

大会登録料 7,000×8 名=56,000 円 RI 会長代理晩餐会 20,000 円×2 名=40,000 円の合計 176,000 円返金されました。

▼同じく地区大会事務所より 2021-22 年度「映像地区大会」の USB が届いております。

▼地区事務所より 2022-23 年度第 1 回地区ロータリー財団研修セミナー参加出席要請のご案内が届いております。

▼三重県緑化推進協会より令和 4 年度定時総会の開催についてのご案内が届いております。

▼伊勢中央ロータリークラブより週報を戴いております。

平井義之ガバナー補佐



“一年をふりかえて”

昨年 7 月より松阪・東紀州グループのガバナー補佐を拝命致しましたが、一昨年より続く

コロナ禍により十分な活動ができずもってクラブの皆さまにお詫び申し上げます。グループ事業としてインターシティミーティングや一部ガバナー公式訪問が中止やむなきに至りましたが、今、ふりかえりますともう少し積極的にアプローチする方法があったのではないかと反省しています。最終的に 2630 地区の全体ではガバナー公式訪問の実施クラブは、73 クラブ中 46 クラブ (63%) でグループ毎のインターシティミーティングの実施グループは、全 12 グループ中 6 グループ (50%) で 2630 地区全体としても残念な結果でした。一方各クラブにおかれましてはコロナ禍においても短縮例会や ZOOM 例会、さらには従来の奉仕事業等、試行錯誤を重ねながらも活動を継続されましたことに敬意をこめて感謝申し

上げます。その時々々のクラブ会長、幹事の状況判断、決断のストレスやご苦労は大変だったと拝察致しますと共にあらためてロータリーの原動力は各クラブの例会活動にあることを再確認させていただきました。最後にクラブの皆様には直接接する機会が少なかったと思われま。浦田ガバナーの最近の動向や一年間で印象深かったことをご報告します。最近ではコロナも少しおさまりガバナー公式訪問や I.M の再開が 4 月頃から急増し大変ご多忙と聞いています。残念ながら地区大会は中止となりましたがそれにかわる DVD を鋭意作成中で近々各クラブに届くようです。私にとりまして浦田ガバナーについて印象深かった事を 3 点お話しさせていただきます。まず一点目は、皆さまも月信等でよくご存知のようにスタート時から終始一貫ロータリーの職業倫理感にふれながら現在のいきすぎた市場経済主義への警鐘を発信されてきました。これは政府、岸田総理の「新しい資本主義」ともオ

オーバーラップされる部分があるかと思いません。二点目は、コロナ禍で希薄になりがちは「親睦と奉仕」に腐心され企画されましたガバナー杯チャリティーゴルフ大会を昨年 11 月に伊勢カントリーで開催されました。2630 地区内 12 グループより精鋭 2 チームが代表で出場し総勢 110 名大いに盛り上がりました。その際のチャリティー金額は 72 万 4 千円で米山記念奨学会とロータリー財団（ポリオ）に届けられました。特に我が松阪・東紀州グループから松阪東 R.C が準優勝！松阪 R.C が第三位と当地区ガバナー補佐の私としては大変誇らしくうれしい出来事でした。ありがとうございました。三点目は、全国 34 地区に先がけ「ウクライナ避難民支援」に地区ロータリー財団活動資金より 10 万ドルの拠出を一早

く決定されました。またクラブの皆さまにも呼びかけられ 73 クラブから 938 万円のご寄付があり合計しますと 2230 万円を R.I の災害救護基金に寄贈されました。この原資のすべては会員お一人お一人の寄付の賜物で地区会員数 3051 名で平均お一人@7300 円をウクライナの人道支援に貢献されたことになりました。以上のように浦田ガバナーは対外的にも対内的にも勢力的に活動されています事をご報告いたします。以上あまりお役に立てない一年間でしたが私にとりましては多くの出会いにめぐまれた貴重な一年でした。会員の皆さまに厚くお礼申し上げますとともに貴クラブのますますのご発展をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

地主昌美次期ガバナー補佐



熊野ロータリークラブの皆様、本日は失礼いたします。日頃は松阪東ロータリークラブに対してご支援、ご協力をいただき、ありがとうございます。私は 2022-23 年度、松阪・東紀州グループ次期ガバナー補佐予定者の地主昌美と申します。よろしく申し上げます。自己紹介をさせていただきます。昭和 32 年生まれの 65 才です。松阪市の南に位置する多気町相可で建築設計事務所を営んでおります。松阪東ロータリークラブ歴は平成 13 年 2 月の入会ですので 21 年目となります。また松阪東ロータリークラブが、ホストクラブとして 2001-2002 年度に開催した地区大会経験者の数少ないメンバーとなっていました。パスト会長が少数で私のような者がガバナー補佐を務めさせていただくこととなり、皆様には大変不安に思われる方もお見えかと思いますが、この機会にロータリーについて少しでも多く学ばせていただき、会員皆様のご協力により、一年間を務めさせていただきますので、よろしくご指導の程お願い申し上げます。さて、2022-23 年度ジェニファー・ジョーンズ RI 会長のテーマは

「イマジンロータリー」です。会員が夢を実現するために行動し、クラブの魅力を最大限に味わえる場としてのロータリーを思い描き、互いのつながりを深めることによって世界に変化をもたらすパートナーシップを築くよう会員に呼びかけられました。そして 2022-23 年度第 2630 地区、高橋ガバナーの地区スローガンは「ロータリーの心と原点」を大切に、描こう明るい未来をです。ロータリーの心とは「寛容の心を基盤とした友愛と信頼」二つのモットーである「超我の奉仕」「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」であり、原点は「ひとつづくり、真のロータリアンを育てる事」であると考えられました。

地区活動方針として

1. RI 会長テーマ「イマジンロータリー」及び強調事項の推進
2. RI 戦略計画の推進
3. 会員増強、会員維持、クラブ拡大
4. RI ロータリー賞への積極的にチャレンジ
5. 青少年育成の推進
6. ロータリー財団補助金の積極的活用と寄付への理解、推進
7. 米山記念奨学事業への参加と支援以上の 7 項目を掲げられました。来年度一年間、地

区と松阪東紀州グループの各クラブへのガバナー補佐としての役目を微力ながら全うできるよう臨んで行く所存ですので、ご支援、ご

指導いただきますようお願い申し上げます、ご挨拶と致します。どうぞ一年間よろしくお願い申し上げます。

諸事御祝

結婚記念日：齋藤友紀会員

ニコニコ BOX

ガバナー補佐 平井義之様…一年間のご支援をありがとうございました。

次期ガバナー補佐 地主昌美様…本日よろしくお願い致します。次年度よろしくお願い致します。

野地俊行会長…平井ガバナー補佐、地主次期ガバナー補佐、熊野へようこそおいで下さいました。

朝尾 高明…ガバナー補佐遠くまでお疲れ様です。

前田 衣代…平井ガバナー補佐 1年ありがとうございました。先週に続き例会場の例会、皆様と会えるので嬉しいです。ZOOMでの参加はなれなくて不安でした。

田端 稔充…平井 AG 御苦労様でした。地主次期 AG よろしく願いします。

川原 直美…平井 AG、地主 AG エレクト本日は、ようこそお越し下さいました。よろしくお願い致します。

榎本正一、齋藤友紀、西村昭宏、大崎順敬、片岡博也、赤阪俊一、清水康仁、井上登…

平井ガバナー補佐様、地主次期ガバナー補佐様、熊野にようこそお越し下さいました。

齋藤 友紀…嫁さんと結婚記念日の祝いをする予定でしたが、思わぬケガでできませんでした。

尾崎しほ子…遅刻申し訳ありません。

出席報告

赤阪俊一 出席委員長
会員数 32 名 出席数 22 名 欠席数 10 名
出席率 68.75%

次回第 2305 回例会

7月7日：初例会